


しまねの土地改良だより

平成 25 年 5 月 1 日発行


 水と里ネット島根

■ 島根県土地改良事業推進議員連盟が研修会・意見交換会を開催

昨今の目まぐるしい社会情勢の変化、環境問題や安全・安心への要請の高まりのなか、広範に見識を深め、島根県の農業・農村の持続的な発展・振興を推進することを目的に、4月16日、東京都の都道府県会館で農林水産省農村振興局との研修会、意見交換会が開催されました。

この会は、島根県土地改良事業推進議員連盟（会長浅野俊雄 島根県議会議員）が主催して開催されたもので、約3年半ぶりの開催となりました。

当日は、實重農村振興局長、林田局次長、小林整備部長、室本設計課長外幹部職員、島根県土地改良事業推進議員連盟、島根県、県内市町、県内土地改良区役員、県土連役員など総勢51名が出席しました。

はじめに、主催者を代表して浅野会長から「今回現場の実態をお話するので、長期ビジョンに立ったご助言をいただきたい。」と挨拶がありました。

続いて實重局長から「土地改良基盤整備の課題、使命はますます大きくなっており、今後大区画化、排水改良等を行い農業を強くして災害の起こらないように農業農村、人の命を守ることにしっかり取り組んでいきたい。」と述べられました。

第1部の研修会では、平成24年度農業農村整備事業補正予算及び平成25年度当初予算、小水力発電及び太陽光発電等再生可能エネルギーについて、農村振興局の担当者からそれぞれ説明がありました。

第2部の意見交換会では、議員連盟の方々からの県内の農業農村の課題等についての現状報告、また各事業に対する要望、提案等に対して、農村振興局担当者からそれぞれの事業制度や対策のポイント、整備手法等についての説明があり、予定時間をオーバーしての活発な意見交換が行われました。

県土の8割以上が中山間地域等の条件不利地である県内の農村の生の声を届け、土地改良事業の安定的な予算の確保や事業制度の新設・拡充等につなげ、豊富な地域資源を活用した特色ある地域農業を構築するためにもこのような会が今後も継続して開催されることが望まれます。



・ 島根県土地改良事業推進議員連盟が研修会・意見交換会を開催	1
・ 島根県農業農村整備推進協議会幹事会を開催	2
・ 山王寺「大門ため池」でボランティア活動を実施	2
・ 平成25年度JARUS技術研究発表会	3
・ ルーラル・ミーティング in しまね (H25) 開催のご案内	3
・ 中国四国農政局・各県・各県土連の意見交換会	4
・ 中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議	4
・ 今後の主な予定	4

■ 島根県農業農村整備推進協議会幹事会を開催

4月12日、島根県土地改良会館において平成25年度第1回島根県農業農村整備推進協議会幹事会が開催され、5月17日に開催される同協議会総会提出議案の外、平成25年度活動計画等の議案について協議が行われました。

今年度の活動計画では、平成12年度から開催している農林水産省との意見交換会については、昨年度と同様に協議会会員（市町村長）の外、土地改良区役職員の参加も募り、協議会と県土連の共催で開催することとなりました。また、県内に山積する課題の中から特定のテーマを設定し開催する「ルーラル・ミーティング in しまね」は、「しまねの原風景「棚田」を未来へ」をテーマとして開催することが決定しました。（詳細は4頁を参照）

昨年末の政権交代で土地改良予算の復活は実現したものの、継続的な予算確保の要望等、今後とも県内の農村地域活性化のために積極的な活動を行いたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いします。

◆ 可決承認された議案

- 1 役員の改選について
- 2 平成24年度事業報告、同収支決算について
- 3 平成25年度推進協議会体制について
- 4 平成25年度総会提出議案について
- 5 平成25年度活動計画について



■ 山王寺「大門ため池」でボランティア活動を実施

3月31日、山王寺棚田実行委員会主催による「大門ため池」補修・草刈ボランティアが行われ、本会から8名が参加しました。

昨年9月に外来種駆除を行った雲南市大東町山王寺の「大門ため池」は、斜樋の脇から漏水しており、このまま放置しては危険な状態でした。このため、地元委員会がボランティアを募り補修を行うこととなりました。



当日は、県職員、本会職員、地元関係者等約40名が参加し、ため池補修班と草刈班に分かれ作業を行いました。ため池補修班は、堤体の欠損部に土砂を詰め小型の転圧機で転圧を行いました。また、草刈班は、大門ため池から棚田へつながる約400mあまりの用水路沿いや、下流にあるため池堤体の草刈を行いました。

ため池の漏水は、堤体の決壊につながる恐れがあり、早期の補修が大切ですが、高齢化・過疎化により地元関係者のみでは維持管理が難しい状況です。美しい農村を守るため、今後も本会はこのようなボランティア活動に積極的に参加して行きます。

■平成 25 年度 JARUS 技術研究発表会

4月10日、東京都港区日本赤十字社ビルにおいて、平成25年度JARUS業務実施方針等説明会が、正会員（市町村）、特別会員（道府県、土連）等約70名が参加し開催されました。

最初に、農林水産省4名の方から、今年度の農林水産施策（農村環境、集落排水、再エネ、バイオマス）の概要説明があり、次に今年度の（社）地域環境資源センターの業務概要（農業集落排水、バイオマス、農村環境）についての説明がありました。

翌日には、平成25年度JARUS技術研究発表会が、正会員、特別会員等約60名が参加し開催され、農業集落排水の省エネの取組、農業集落排水施設の最適整備構想策定支援システム、農業集落排水技術の国際展開検討、バイオマス技術関係及び農村環境関係の技術研究発表がありました。

また、午後からは、農業集落排水施設に係る新技術普及研究会（第1回総会）が、30道府県土連の農業集落排水担当者が参加して開催されました。この研究会は、昨年度、全国土地改良事業団体連合会、センター及び32道府県土連が、今後の農業集落排水施設のストマネ、維持管理費の削減等農業集落排水事業について検討するためにスタートしました。今年度は、ストマネの推進、ブロック会議・研修会の実施が決定されました。中国四国ブロック研修は、7月山口県内で開催予定です。

■ルーラル・ミーティング in しまね（H25）開催のご案内

島根県農業農村整備推進協議会主催の「ルーラル・ミーティング in しまね（H25）」を下記により開催いたします。

今年度は、「しまねの原風景「棚田」を未来へ」をテーマに、農村開発企画委員会主催の「平成24年度（第8回）美の里づくりコンクール」で農林水産大臣賞、美の里づくり審査会特別賞を受賞した浜田市の都川、室谷地区の報告や、同コンクール審査委員の浜美枝さんの講演。また、翌日には「棚田現地見学会」も予定していますので、多数のご参加をお待ちしております。なお、詳細については、後日、文書にてご案内いたします。

＝ 開催概要 ＝

- ◆開催日時 平成25年6月23日（日）13：30～16：30
- ◆開催場所 浜田市旭町「旭支所旭センター」
- ◆プログラム
 - ・報告 美の里づくりコンクール受賞地区（都川、室谷）
 - ・講演 浜美枝さん（美の里づくりコンクール審査委員）
 - ・話題提供 吾郷秀雄氏（農水省OB、農学博士）
神英雄氏（浜田市世界こども美術館学芸課長）
県内棚田地域活性化事例（山王寺）
 - ・パネルディスカッション（浜美枝さん及び報告・話題提供者）

■中国四国農政局・各県・各土連の意見交換会

4月18日午後から、中国四国農政局会議室にて、農政局から青山整備部設計課長外5名、各県農業農村整備関係課長15名、各県土連事務責任者21名が参加して意見交換会が開催されました。

冒頭、青山設計課長から、「国、県、土連は農業農村整備推進の中でそれぞれの役割を担うパートナーであり、お互いその役割を認識し協力していきたいので、前向きな意見交換をお願いしたい。」旨の挨拶があり、その後、それぞれの出席者から農業農村整備事業予算の円滑な執行に向けて現状報告があり、その後今後の方針等について活発な意見交換がなされました。

■中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議

中四国9県の県土連で組織する協議会の事務責任者会議が4月18日、岡山市で今年度の当番県である山口県土連をはじめ各県土連の事務責任者外21名が参加し開催されました。

山口県土連の茅原常務理事の挨拶に続き、今年度の事業計画等について討議が行われ、提出された3議案全てが原案どおり可決承認されました。

■今後の主な予定

- 5月15日 島根県農村災害支援協議会総会（本会）
- 5月17日 島根県農地・水環境保全協議会理事会及び総会（本会）
- 5月17日 島根県農業農村整備推進協議会総会（本会）
- 5月17日 島根県土地改良事業団体連合会役員会（本会）
- 5月22～27日 第16回しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品展示（県立美術館）
- 5月26日 第16回しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品表彰式（県立美術館）



みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp